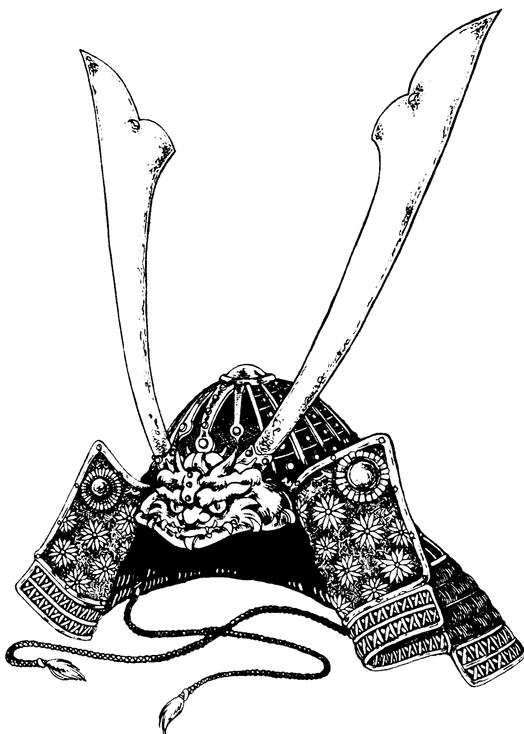
# 義　経

## シミュレーション／アドベンチャー

―取扱説明書―



SOFTEC

## ── はじめに ──

この度は『義経』をお買い上げ頂き、まことにありがとうございます。ゲームを始める前に本書をよくお読み下さい。

なお、本ソフトウェア、ならびに本マニュアルの著作権は日本ソフテック株式会社が所有しており、複製行為、及び賃貸行為は一切許可しておりません。

本ゲームは義経の伝記をもとに脚色を加えたものでありフィクションであります。

## ── 目　次 ──

## ── MS-DOSの組み込みについて ──

本製品をお楽しみいただくためにはMS-DOSが必要です。以下にMS-DOSの組み込み方を説明します。

必要な物

1. MS-DOS（Ver.3.1以上）のシステムが入ったディスク
2. 義経のAディスク

まず、MS-DOSのシステムの入ったディスクをドライブ1に、義経のAディスクをドライブ2に挿入してリセットして下さい。

MS-DOSが起動してコマンドが入力できる状態になりましたら次のように入力して下さい。

B：INST↵

終了のメッセージが表示されるまでディスクを抜かないで下さい。

終了したらそれぞれのディスクをぬいて下さい。以上でMS-DOSが義経のAディスクに組み込まれました。

ゲームは今つくった義経のAディスクとBディスクだけで楽しめます。

※　MS-DOSは米国マイクロソフト社の商標です。

## ――「義経」の時代――

義経の活躍した時代は今から約八百年程前の平安末期にまでさかのぼる。

朝廷と公家は常にその内部で権力争いを続けていた。やがて彼らの争いは武力による闘争を必要とするまでになるのである。ここに武家の登場を見ることとなる。

「保元の乱（1156年）」。この乱は後白河天皇と崇徳上皇による権力争いであったが、実質的には天皇、上皇、それぞれの側についた武家の代理戦争であった。乱そのものは後白河天皇の勝利に終わった。この乱で後白河天皇側について戦ったのが、平清盛と源義朝を中心とする武家であった。以後、平清盛と源義朝は政治的にも大きな権力を持つようになる。

ところが、平清盛は数々の策略により、政治的に源義朝を凌駕するようになる。朝廷と結び付いた平清盛を中心とする平家は源義朝を中心とする源氏をはるかに上回る権力と富を手に入れるようになったのである。

こうして、「平治の乱」（1159年）」が起こるのである。源氏の運命を賭けて立ち上がった源義朝であったが、惜しくも敗れ尾張まで逃げ落ちたところを家人の長田忠致に謀殺された。

この事件をきっかけにしてさらに平家の権力は高まることとなった。また、源義朝の三男頼朝は伊豆に流され流人となり、九男義経（幼名、牛若）は成長した後、鞍馬山にて僧侶となることを義務づけられた。時に頼朝14歳、義経はまだ生まれたばかりの赤子であった。

時は流れ、平家の勢いは頂点に達し、「平氏にあらずんば人にあらず」、そのままの専横が続いた。だが、人々の平家に対する不満も徐々につのっていた。そして1177年、ついに不遇の皇子、以仁王と源頼政による平家討伐のもくろみが発覚するのであった。事件そのものはたいしたこともなく平定されてしまうのだが、この時、以仁王は一つの令旨を発している。

「源氏ゆかりの者ども、平家を討伐せよ。」

この令旨は源行家の手により、伊豆の源頼朝、木曽の源義仲、甲斐の武田氏ら全国の源氏のもとへ届けられた。この時義経は奥州にいた。

自らの出生、源氏の悲劇、父の無念、兄、頼朝の流人生活。鞍馬山での生活のなかでそれらを知った義経は平家討伐を夢見て奥州へ逃げていたのである。当時、奥州は朝廷の政治圏外であり、その実力ははかり知れないものがあった。義経は成人するまで奥州の藤原氏の庇護のもとで暮らし、平家打倒の機会をうかがっていたのである。

その義経に令旨は届かなかった。にもかかわらず奥州で兄頼朝の挙兵を知った義経は頼朝の挙兵に参加すべく鎌倉へと駆けつけるのである。

日本史を彩った天才、義経の活躍が始まる。

## —— 義経の生涯 ——

| | | |
|---|---|---|
| 1159年 | 平治元年 | ・義経（幼名、牛若）生まれる。父、源義朝。母、常盤御前。<br>・平治の乱、起こる。 |
| 1160年 | 永暦元年 | ・父、源義朝、尾張にて暗殺される。<br>・兄、源頼朝、相模の伊豆へ流される。 |
| 1162年 | 永暦二年 | ・牛若、四歳の春、京の山科の里に預けられる。 |
| 1165年 | 永万元年 | ・牛若、七歳の冬、鞍馬山の鞍馬寺に預けられる。 |
| 1174年 | 承安四年 | ・牛若、十六歳、鞍馬山を抜け出し奥州平泉をめざす。<br>・元服し「源九郎義経」と名のる。 |
| 1177年 | 治承元年 | ・以仁王、源頼政による鹿ケ谷事件発生。 |
| 1180年 | 治承四年 | ・四月、以仁王の令旨、諸国源氏に向けて発っせられる。<br>・八月、頼朝、伊豆で挙兵。<br>・九月、源義仲、木曽で挙兵。<br>・十月、駿河の黄瀬川の宿で兄、頼朝と対面する。その後、鎌倉に住む。 |
| 1181年 | 養和元年 | ・平清盛死す。 |
| 1183年 | 寿永二年 | ・五月、義仲、平維盛を敗る。<br>・七月、義仲、京に入る。<br>・九月、後白河法皇、義仲に平氏追討を命ずるが横暴激しく法皇はこれを頼朝に訴える。<br>・十二月、義経、範頼を大将として義仲追討軍、鎌倉を発つ。 |
| 1184年 | 寿永三年 | ・一月、宇治川の合戦で義仲を粟津にて討つ。<br>・二月、一の谷の合戦で平氏を破るが平宗盛以下の主だった者は屋島に逃れる。その後、頼朝の命で京にとどまる。<br>・八月、義経、左衛門少尉、検非違使に任ぜられる。<br>・十月、義経、院内への昇殿を許され京において源氏の代表的立場になるが頼朝の許可を得ずに任官したことで頼朝の怒りを買う。 |
| 1185年 | 文治元年 | ・一月、義経、平氏追討のため京を発つ。<br>・二月、屋島を奇襲して平氏を破る。<br>・三月、水軍を率いて壇の浦にせまる。<br>・同月、平氏滅亡。<br>・十月、頼朝によっておくられた暗殺者、土佐房昌俊をしりぞける。<br>・十一月、源行家らと西国にて再挙をはかろうと四国に向かうが、大物の浦で遭難し大和にのがれる。 |
| 1187年 | 文治三年 | ・二月、藤原秀衡を頼って平泉につく。<br>・十月、秀衡死す。 |
| 1188年 | 文治四年 | ・二月、藤原泰衡に義経追討の宣旨くだる。 |

1189年　文治五年　・四月、義経、衣川の館で泰衡の軍に攻められ自害する。（義経三十一歳）
・その後、頼朝は奥州に攻め入り藤原家を滅ぼし三年後の1192年に鎌倉幕府をひらく。

## ―― 主要人物紹介 ――

**源　義経**（みなもと　よしつね）1159～1189？

この物語の主人公。源義朝の九男。宇治川の合戦で源義仲を破り、一の谷、屋島、壇の浦の合戦で平家を追討した。だが、兄源頼朝の政治に不必要な義経は、奥州平泉で頼朝の意をうけた藤原泰衡に衣川の館を攻められ自害したとされている。義経には、その数奇な運命と悲劇性から多くの伝説が生まれている。有名な伝説では、平泉から脱出した義経が中国大陸に渡り、チンギスハーンになったというものなどがある。

**源　頼朝**（みなもと　よりとも）1147～1199

源義朝の三男。鎌倉幕府初代将軍。平治の乱で敗走中に捕らえられて伊豆に配流された。その後北条政子と結婚し、以仁王の令旨を受けて挙兵。源義経、範頼を派遣して次々と平家軍を敗り、1185年、ついに壇の浦で平家を滅ぼした。その後、義経を奥州平泉で討ち、鎌倉に幕府を成立させた。日本初の武家政治の始まりである。頼朝の最後ははっきりしないが、相模川の橋供養の帰路の落馬が原因で死亡したといわれている。

**源　義仲**（みなもと　よしなか）1154～1184

源義賢の子である。父が源義平に討たれてから木曽の豪族、中原兼遠をたより、木曽で成人した。よって木曽義仲ともよばれている。1180年（治承４年）以仁王の令旨により反平家の挙兵。倶利伽羅峠の戦いで平家を撃ち破り入京した。
しかし、その後、後白河法皇と対立するようになり後白河法皇を幽閉して朝日将軍となるが、源義経、範頼の軍に敗れ近江粟津で討死した。

**源　義朝**（みなもと　よしとも）1123～1160

源為義の長男で義経、頼朝らの父である。保元の乱で平清盛とともに後白河天皇側につき、崇徳上皇、藤原頼長らと対立し勝利した。しかし、この戦いで上皇側についた父や弟など一族の多くを失ってしまう。その後平治の乱で清盛に敗れ尾張で長田忠致に暗殺された。

**源　範頼**（みなもと　のりより）？？？？～？？？？

源義朝の六男。1181年（養和元年）、兄頼朝の命により、源義広追討の命をうけて出陣。次いで、1184年（元暦元年）弟義経と共に義仲軍を敗った後、一の谷の合戦で平氏を敗走させ、その功で三河守になった。同年に再び平氏追討に山陽道を進むが兵糧の不足などで苦戦した。平氏滅亡後の1185年（文治元年）九州に渡り鎌倉幕府支配の整備にあたるが1193年（建久４年）曽我兄弟の仇討事件に端を発した失言事件で失脚、伊豆に配流に処せられ、最期は不明である。

**武蔵房　弁慶**（むさしぼう　べんけい）？？？？～1189
　熊野別当弁正の子といわれている。源義経の従者で伝説的英雄である。義経とともに平家討伐で多くの勲功をたてた。義経が頼朝に追われてからは、安宅の関などで義経の逃亡を助けた。しかし平泉で藤原泰衡の攻撃を受け衣川の館で、全身に矢を受け、立ったまま死んだといわれている。

**伊勢　三郎**（いせ・さぶろう）？？？？～1186
　本名は義盛といい、父の義道は義朝につかえ平治の乱で戦った。敗戦後、三郎は野党の首領をしていたと言われているが、奥州の近くの豪族であったとも言われている。義経の家来になり屋島、壇の浦の合戦で活躍し、1185年（文治元年）義経と頼朝が不和になり、義経が京から西国へ逃れるのに従ったが、途中で義経と別れ、その後の行動や最期はわかっていない。

**藤原　秀衡**（ふじわら　ひでひら）？？？？～1187
　藤原基衡の子。奥州藤原氏の三代目である。軍事行動は一切起こさなかったがその実力は鎌倉の頼朝にとっても脅威であった。秀衡は源義経を寵愛し、頼朝に追われた義経をかくまい、その遺言で義経の保護を訴えている。しかし、彼の没後、息子の泰衡は頼朝の圧力に屈し義経を討ってしまう。その後奥州は頼朝に攻められ、奥州平泉の文化も途絶えてしまった。

**平　清盛**（たいら　きよもり）1118～1181
　平忠盛の子で忠盛の政治基盤を継承し、保元の乱、平治の乱を通じて平家全盛時代を築いた。1160年（永暦元年）正三位参議、さらに1167年（仁安２年）従一位太政大臣になり平氏一門の総帥として権力をふるった。しかし、以仁王、源頼政が平家打倒の兵を挙げ、これは鎮圧したが、以仁王の令旨を受けた源頼朝ら反平家勢力が台頭してくるなか熱病に冒されついに倒れた。

**平　知盛**（たいら　とももり）1152～1185
　平清盛の四男。清盛亡き後の平家の軍事的統率者であった。源義仲に追われて都落ちし、一の谷の合戦で息子の知章を失い、壇の浦の合戦では一門の敗北を見届けてから入水した。

**後白河法皇**（ごしらかわほうおう）1127～1192
　鳥羽天皇の第四皇子。保元の乱で崇徳上皇を破り院政を始めた。また、平治の乱では二条天皇の親政派を排除し結果として平家全盛時代を招く。その後、平清盛との対立が表面化し源義仲、さらに源頼朝を官軍として平家を追討させるが、今度は頼朝の力をおそれ、義経と頼朝が対立するように画策したが失敗。逆に頼朝の要求した守護、地頭の設置を受託することになり武家政権成立の基盤を与えてしまう。頼朝をして日本一の大天狗といわしめた策略家であった。

**建礼門院**（けんれいもんいん）1155～1213

平清盛の娘である。母は平時子（二位の尼）である。入内して高倉帝の女御となった。1178年（治承２年）安徳天皇を出産。源義仲の軍勢が入京後、平家一門とともに西国にのがれた。しかし、義経らに壇の浦で追い詰められ入水するが助けられ、後に出家し高倉帝、安徳帝の冥福を祈って余生を送った。

**静　御前**（しずか　ごぜん）？？？？～？？？？

磯の禅尼の娘。男舞をする白拍子であった。源義経の寵愛をうけ義経の都落ちにしたがった。しかし、途中で別れ、後に潜伏中のところを捕らえられ鎌倉に送られた。源頼朝の召しにより鶴岡八幡宮の回廊で歌舞を演じたが義経への思慕を演じたので頼朝の不興をかった。その後義経の子を出産したが頼朝により殺され、鎌倉を出ている。その後の消息はわかっていない。

**常盤　御前**（ときわ　ごぜん）1137～？？？？

源義朝の妾であった。都中から選ばれた美女十人のうちの一人であった。今若乙若、牛若の三人を産んだが、このうちの牛若こそが後の義経である。しかし、義朝が平治の乱で敗れると清盛の妾にされ、さらに藤原長成と再婚している。

**北条　政子**（ほうじょう　まさこ）1156～1225

北条時政の娘。源頼朝の妻である。頼朝没死後、頼家が将軍職につくと出家し尼となるが一方では父時政、弟義時とともに幕政に参加し幕府内における北条家の権力を高めた。後に義時と時政が対立するようになると義時側に立ち時政を伊豆に幽閉した。承久の乱の時には諸御家人を前に頼朝の恩義を説き幕府の基礎を固めた。世に尼将軍と称せられた。

## —— ゲームを始める前に ——

パッケージ内に以下の物が入っているかどうか確認して下さい。

ディスク　（二枚）
取り扱い説明書　（本書）
ユーザー登録葉書

ハードについての確認をして下さい。

| | | |
|---|---|---|
| パソコン本体 | PC-9801VM以降 | （5－2HD） |
| | PC-9801UV2以降 | （3.5－2HD） |
| | 要640KB　／　要16色 | |
| ディスプレイ | 要アナログRGB | （640＊400ライン） |
| その他 | FM音源対応 | |
| | 要バスマウス | |
| | （※キーボードは使用しません） | |

## —— ゲームの起動方法 ——

本体に電源を入れ、続いてドライブ1にMS-DOSのシステムを組み込んだ義経のAディスクを、ドライブ2にBディスクを入れてリセットして下さい。
「義経」のオープニングデモが始まります。ゲームをすぐにはじめたいときはマウスを左クリックして下さい。メニュー画面にかわります。メニュー画面では「ストーリーモード」か「シミュレーションモード」のいずれかを選んで下さい。
義経のふたつのモードについて説明します。

### 1．ストーリーモード

アドベンチャーとシミュレーションによって貴方自信が義経となって源平の戦いに挑んで下さい。始まりはアドベンチャーです。義経が兄頼朝と出会うところから始まります。しばらくのアドベンチャーの後、シミュレーションに辿りつくことでしょう。その後もアドベンチャーとシミュレーションの繰り返しにより義経の人生を経験してみて下さい。

アドベンチャーでの経験によってシミュレーションでの武将達の力量が変わってきます。

## 2. シミュレーションモード

義経の合戦部分だけをとりだしたモードです。したがってシミュレーションのみで構成されています。合戦は四つあります。それぞれ選んで下さい。武将等のパラメーターはあらかじめ設定されています。

## ―― 用語説明 ――

ゲームの説明に入る前に本書で用いる用語の説明をします。

### 1. マウスについて

左クリック …………… 左ボタンを押すこと
右クリック …………… 右ボタンを押すこと
選択 ……………………… 左クリック

### 2. ZOCの影響力について

シミュレーションにおける駒の支配地域に対する影響力のこと
支配地域 ……………… 駒の上下左右
影響力 ………………… 互いに敵の支配地域を通り抜けることはできない。

### 3. ターンについて

シミュレーションにおける功防はターン制で行われます。１回のターンには決まった移動能力がありますので、その移動能力以内でいくつかの駒を移動させ、時には戦闘を行います。この一連の行動が１回のターンで行われます。自分のターンと敵のターンが交互に行われ、決着がつくまで続きます。

# ―― ゲームの遊び方 ――

## 1．アドベンチャー

### 1．目的

　あなたは義経となり、源平の争乱期を生きぬくことになります。現実の義経とおなじく、大活躍して下さい。

　アドベンチャーでの義経の行動により、義経自身、また各武将たちの行動、及び義経に対する感情などいろんなパラメーターに変化が生じます。話が進むにつれ義経の人生が見えてくるでしょう。

　このアドベンチャーの結果により後に行われる戦闘を有利に戦えるか不利に戦うのかが決まります。よく考えて行動して下さい。

### 2．画面




左上　　メイン画面です。ここに現在いる場所の風景がグラフィックで表示されます。４すみには現在、話している人物の顔が表示されます。

左下　　ストーリー表示欄です。プロンプトがでたときは左クリックして下さい。上下の矢印はストーリーのスクロールに使用します。過去を見直したい時などに使います。元に戻すときは矢印以外のところをクリックして下さい。

右上　　コマンドエリアです。人物、豆知識、機能があります。

右中央　行動の選択画面です。

右下　　武将のパラメーターです。それぞれ意味がありますが、武将パラメーターについては後に述べます。

### 3．行動選択

　行動の選択画面の中から義経であるあなたがとるべき行動を選択して画面内を左クリックして下さい。その行動により話が進みます。

## 4. コマンド

### ●人　物

人物のパラメーターを表示します。これを左クリックすると人物の一覧表がでます。人物を選択して下さい。その人物のパラメーターが右下に表示されます。終了する時は右クリックをして下さい。

### ●豆知識

用語や人物の説明コマンドです。これをクリックすると調べたいものの分類が表示されます。調べたいものを選択して下さい。項目の一覧が表示されます。項目を選択して下さい。項目についての説明が表示されます。

終了するときは項目の説明を表示した後で左クリックして下さい。右クリックすると項目の選択に戻ります。

### ●機　能

機能を選択するとゲームに関する諸機能を実行できます。右クリックで解除されます。

| | |
|---|---|
| ・ロード | データをロードします。シミュレーションのデータをロードした場合にはシミュレーションに移行します。 |
| ・セーブ | 現在のところまでのデータをセーブします。 |
| ・文章速度 | 文章の表示スピードを変更します。 |
| ・マウス | マウススピードを変更します。 |
| ・終了 | モード選択画面に戻ります。 |

## 5. 武将パラメーターについて

コマンドで人物を選択した時、もしくはメイン画面上の人物の顔の上をクリックした時に表示されます。

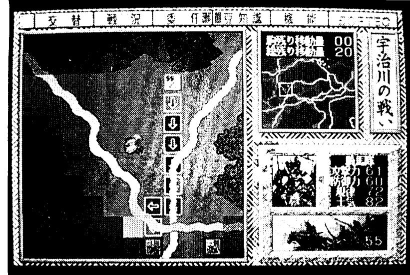
0～100までの数値で、表示されます。これらはすべてシミュレーションの攻撃、防御、規律、士気のすべてに影響をあたえます。これらの数値は高ければ高い程よい結果となります。

●気力 ……………… 戦闘に対する気力です。
●体力 ……………… 体力です。
●統率力 …………… 兵をまとめあげる力です。
●義経への信頼 …… 義経にたいする忠誠度。
●頼朝への信頼 …… 頼朝にたいする忠誠度。
●剣術 ……………… 剣をあつかう能力です。
●弓術 ……………… 弓をあつかう能力です。
●馬術 ……………… 馬をあやつる能力です。
●操船 ……………… 船をあやつる能力です。

## 2. シミュレーション

### 1. 画面説明

右の画面写真を参考にして下さい。




上　　コマンド欄です。交替、委任、戦況、豆知識、機能があります。

左　　メイン画面です。自軍は白い駒です。平家軍は赤い駒です。青の駒は義仲軍及び、範頼軍です。義仲軍は敵。範頼軍は味方です。

右上　全体マップです。メイン画面の範囲が枠で表示されています。駒の残り移動量と総残り残移動量も表示されます。

　また、戦闘時には相手のパラメータが表示されます。

右下　自軍の部隊のパラメーター等の情報が表示されます。

### 2. 勝利条件

各マップにおける勝利条件は下記のとおりです。

1、宇治川の合戦　—　源　義仲を倒す
2、一の谷の合戦　—　平　知盛を倒す
3、屋島の合戦　　—　平　宗盛を倒す
4、壇の浦の合戦　—　平　知盛を倒す

※これらの武将を倒すためには他の武将を倒しておくと有利です。

義経が敗れるとゲームオーバーです。

### 3. スクロールについて

（1）メイン画面内
　すみを左クリック ………… その方向へスクロールします。

（2）全体マップ内
　左クリック ………………… その場所に瞬間移動します。
　右クリック ………………… その場所に向かってスクロールします。

### 4. カナキーについて

カナキーがロックされていると敵側も人間の操作になります。

## 5．移動

駒によって移動できる範囲が違います。駒残り移動量が画面に表示されますので参考にして下さい。

まずこちらのターンになったら

（１）　動かす駒がメイン画面内にくるようにスクロールさせます。

（２）　動かす駒を左クリックで選びます。
ウィンドウが開いて移動のコース設定を自動にするか手動にするか聞いてくるので変更したい場合のみ変更する方を左クリックしてください。変更しない場合はそれ以外の場所を左クリックしください。
この時移動可能範囲が表示されます。
その駒のパラメーターも表示されます。
敵の駒を左クリックした場合にはその駒のパラメータが表示されます。

（３）　コース設定が自動の時
移動先を左クリックすると自動的にコースが表示されます。
そのコースでよければ移動先をもう一度、左クリックして下さい。駒が移動します。
移動先を変えたい時は別の場所を左クリックして下さい。別のコースが設定されます。
キャンセルは右クリックです。

コース設定が手動の時
駒を移動させる道順で場所毎に左クリックしていきます。駒残り移動量を参考にしながら移動先を決定して下さい。移動先が決まったらその場所をもう一度、左クリックして下さい。
駒が移動します。
キャンセルは右クリックです。

（４）　総残り移動量が０になるまでいくつでも駒を動かせます。

※　移動中に相手のZOCに捕らえられると移動が終了します。

※　屋島では海から陸、壇の浦では陸から海への移動が各駒につき１回だけ可能です。

## 6. 戦闘

敵の駒の隣に移動すると戦闘する事ができます。

（1）　戦闘できる相手が黄色い枠で囲まれます。
この時、囲まれた敵の駒の上にマウスを移動させると、その駒のパラメーターが表示されます。

（2）　戦闘したい時は枠で囲まれた敵の駒を左クリックして下さい。
戦闘したくなければ右クリックして下さい。

（3）　戦闘は自動的に行われますが、戦闘結果は互いのパラメーターによって決まります。後述のパラメーターの説明を参考にして下さい。

（4）　部隊人数が0になると負けです。

（5）　戦闘により各パラメーターに変化が生じます。

## 7. コマンド

各コマンドは左クリックにより実行されます。

**●交　替**

交替を選択すると総残り移動量が残っていてもプレイヤー側のターンを終了します。

**●戦　況**

戦況を選択すると現在の自軍と敵軍の全部隊数、人数、武将名などを表示します。右クリックすると終了します。

**●委　任**

委任を選択すると自動モードになります。自軍の行動、戦闘の１ターンをコンピュータに委任するコマンドです。いくつかの駒を動かした後でも可能です。

**●豆知識**

用語や人物の説明コマンドです。これをクリックすると調べたいものの分類が表示されます。調べたいものを選択して下さい。項目の一覧が表示されます。項目を選択して下さい。項目についての説明が表示されます。終了するときは項目の説明を表示した後で左クリックして下さい。右クリックすると項目の選択に戻ります。

**●機　能**

機能を選択するとゲームに関する諸機能設定ができます。右クリックで解除されます。

- **ロード**　データのロードをします。シミュレーションモードの時にはアドベンチャーのデータはロードできません。
- **セーブ**　データのセーブをします。

・**マウス**　　マウススピードを設定します。
・**終了**　　モード選択にもどります。

## 8. 部隊

シミュレーションでは、4種類の部隊が存在します。各部隊にはその部隊特有の長所短所があります。1部隊最高100人です。駒に横棒が入っているのは武将がいる部隊です。地形効果とあわせて戦術の資料として下さい。

**1、剣隊**　　刀で戦う部隊で、森、平地、山地、村での攻撃が得意。移動力は7です。

**2、弓隊**　　弓を使う部隊で、攻撃力はかなりあるが、山や森では不利です。防御力はやや低い。移動力は5です。

**3、騎馬隊**　　馬に乗る部隊で、功防のバランスのとれた部隊です。移動力は10です。

**4、船隊**　　海上の部隊で、移動力は3です。

## 9. 駒のパラメーター

駒には下記のパラメーターがあります。この値はアドベンチャーの行動によって初期値が変化します。シミュレーションモードの場合はあらかじめ決められた値からスタートします。

これらのパラメーターと地形、部隊の種類、敵の種類、地形の種類によって戦闘の優劣が決まります。

**1、攻撃力**　　敵に対する攻撃力です。

**2、防御力**　　敵の攻撃に対する防御力です。

**3、規律**　　隊の統制度を示す数値です。

**4、士気**　　隊の士気を示します。

## 10. 地形

地形は全部で６種類ありそれぞれ特徴があります。

| | |
|---|---|
| 1、平地 | 移動力を１必要とする。 |
| 2、山地 | 移動力を３必要とし、剣術隊以外は攻撃力が低い。 |
| 3、森林 | 移動力を２必要とし、弓術隊にとっては攻撃力がかなり低い。 |
| 4、河川 | 移動力を１必要とし、騎馬隊以外は防御力が低い。 |
| 5、海 | 船のみ移動が可能で移動力を１必要する。防御力は高い。 |
| 6、村 | 船以外の部隊では最高の防御力を誇る。移動消費量は１。また、部隊がここに移動してきたときのみ部隊の休息と補給ができます。 |

## おわりに

ユーザーズカードは必要事項をご記入の上、なるべくご返送下さい。返送されていないと下記のサポートができない場合があります。製品には万全を期しておりますが、万一弊社の責任による不都合が生じましたら、御面倒ですが弊社ユーザーサポート係までご連絡下さい。不良の場合はお取り替えいたします。もし、お客様のミスによりディスクが壊れた場合は、そのディスケットと現金1500円を弊社ユーザーサポート係までお送り下さい。新しい物とお取り替え致します。

| 参考文献 | | |
|---|---|---|
| | 義経記 | |
| | 源平時代人物ものしり辞典 | 新人物往来社 |
| | 源平の興亡 | 学研 |
| | 義経 | 文春文庫　司馬遼太郎 |
| | 日本史辞典 | 角川 |
| | 新潮日本人名辞典 | 新潮 |

## STAFF

| | |
|---|---|
| 監　督 | 原　一史 |
| 企　画 | SOFTEC |
| シナリオ | SOFTEC |
| プログラム | 大塚　武見 |
| | 遠藤　英紀 |
| グラフィック | 川北　浩之 |
| | 西前　健司 |
| | 堀内　一弘 |
| 音　楽 | ノブスケ |
| S.E. | ノブスケ |
| テストプレイ | 伊藤　雅暁 |
| 協　力 | 矢花　一夫 |
| 制　作 | SOFTEC |

日本ソフテック株式会社
東京都日野市日野1161－1－102
TEL.0425-82-1502

— MEMO —

— MEMO —

# 義 経